

【学力向上】

これまで学力向上に向け、授業改善の三つのポイントに基づいた授業づくりをお願いしてきました。

- 1 目標の明確化と学習課題の工夫
- 2 見通しと振り返りの活動の重視
- 3 主体的・協働的な学習活動の工夫

平成 30 年度に向けて、この三つの視点から、さらに具体的な授業改善に取り組んでほしいと思います。

- ◎ 教師の指導する**目標が明確**であり、児童生徒が解決する(学ぶ)ことの**目標が明確**である。
⇒何を学ばせ、何を考えさせ、何ができるようになるか。
- ◎ 児童生徒は、「解決方法の**見通し**」「手順の**見通し**」「答えの**見通し**」が立ち、教師は「つまずきの**見通し**」「ヒントの**見通し**」「確認ポイントの**見通し**」があること
- ◎ 自ら進んで解決しようと思える課題である。
⇒ **がんばれば解決できる** (ある程度の負荷)
一人を考え、友達と協力して**解決できる**
「分かる・できる・使える」が**実感できる**
さらに「追求したい」という気持ちが**芽生える**

【体力向上】「体力アップ! チャレンジかごしま」

◎ 学校賞の決定

○ 県学校賞

小学校	中学校
南さつま市立加世田小	枕崎市立別府中

○ 南薩地区学校賞

	小学校	中学校
最優秀賞	南九州市立松ヶ浦小	南九州市立青戸中
優秀賞	南さつま市立長屋小 指宿市立指宿小	南さつま市立坊津学園 (後期課程) 枕崎市立枕崎中

【受賞校表彰式の生徒代表の言葉】(一部抜粋)

私たちは、小学校の頃から長縄に挑戦しています。朝や昼休みを使い練習しました。中学校でも土曜授業の日には、毎回楽しくみんなで跳んでいます。長縄を跳ぶことによって、仲間と心をつなぐことが大切だと感じています。私たちは、友達が引っかけても、友達を責めずに励まし合うことを心がけています。このことを心がけることによって絆が深まったり、記録更新につながったりすると思います。

【心の教育】

1 不登校児童生徒の実態 (1 月末在籍率)

	小学校	中学校	合計
H29	0.27% ↓	3.05% ↑	1.23% ↑
H28	0.38%	2.76%	1.21%

在籍率は、昨年度と比較すると、小学校は 0.11% 低くなっていますが、中学校は 0.29% 高くなっています。

2 居場所づくり・絆づくり

平成 29 年度に新たに新たに不登校となった児童生徒数は、1 月末現在で小学校 14 名、中学校 47 名となっています。特に、中学校 1 年生は、不登校生徒 31 名中 22 名が新規生徒であり、出現率は 70.1% となっています。年度初めは、環境の変化が激しく、そこに適応できない児童生徒が多いとも言われます。教師と児童生徒、児童生徒同士がお互いを知り、自己有用感を味わえる取組 (構成的グループエンカウンターなど) を年度当初に計画・実施してみましょう。

3 新たな不登校を生まない取組

児童生徒の学校での「居場所」はまず学級です。学級経営の充実を図り、学級や学校をどの児童生徒にも落ち着ける場所にしていくことが大切です。また、日々の授業や行事等において、すべての児童生徒が活躍できる場面を実現することにより周囲との「絆」がより強まっていきます。

【社会教育】

「親子手帳」が完成しました。

- 平成 28 年度から南薩地区社会教育振興会では「つながりの構築と関係団体等の連携・協働による地域ぐるみの家庭教育支援」というテーマで研究してきました。それに伴い各種関係団体の研修会等でも家庭教育支援を取り上げて、家庭教育支援啓発資料「親子手帳」を作成しました。親子手帳には、基本的な生活習慣のポイントから南薩地区の見所まで様々な情報が掲載されています。子育てに頑張っている保護者の一助となればとの思いで、たくさんの方の協力により完成しました。



平成 30 年度小学校、義務教育学校入学者の保護者に 4 月下旬頃配布する予定です。

P T A や家庭教育学級等での活用もお願いします。

南薩地区教育論文・実践記録にたくさんの応募をいただきありがとうございました。

本年度も、地区内の小・中・義務教育学校の先生方から貴重な実践に基づいた教育論文・実践記録を多数応募いただきました。本年度は、365 点の応募がありました。どの論文・実践記録も学校や学級の課題を的確に捉えた実践・研究になっていました。その中から 11 点を南薩地区教育論文・実践記録集「研究と実践」第 8 号に掲載しました。今後の教育活動の参考としてください。なお、教育論文集は、各学校に配布してありますので御参照ください。

【論文掲載者】学級経営：柳田小 萩原 礼香 教諭 国語：今和泉小 柏木 辰公 教諭

理科：万世小 榊 俊輔 教諭 保健体育：山川中 鮫島 博 教諭

外国語活動：桜山小 上園友愛希 教諭 外国語：加世田中 垂野 公哉 教諭

保健指導：桜山小 寶満みゆき 教諭 特別活動：松ヶ浦小 内野 裕太 教諭

進路指導：坊津学園 西村 太希 教諭 その他：利永小 押領司裕之 教諭

特別支援：(南)別府小 加藤 照美 教諭

賞	入賞数	賞	入賞数
特選	4 6	入選	2 4 0
準特選	2 4	推薦	5 5
学 校 賞			
枕崎市立 桜山小学校		南さつま市立 万世小学校	
奨 励 賞			
枕崎市立	枕崎小学校・立神小学校 桜山中学校		
指宿市立	今和泉小学校		
南さつま市立	加世田中学校 大笠中学校		
南九州市立	松ヶ浦小学校 大丸小学校		

H29 年度
南薩地区

よりよい授業づくり発表会 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

1月30日(火)に南薩地区「よりよい授業づくり発表会」を開催しました。小・中学校別に各教科部会が、学習指導上の課題の解決を図る上で、具体的な授業のイメージとなるモデル授業について研究を進め、その成果等について発表しました。

【発表内容】 各教科の発表内容は、「かごしま学力向上支援 Web システム」で公開しています。

教科	発表Ⅰ (小学校)	発表Ⅱ (中学校)
国語	「書く力」を育てる学習指導法の工夫改善	書く力を付けるための授業づくり
社会	考える力を育てる社会科学習指導の在り方	主体的・協働的な学びによる、思考・判断・表現力を育成する授業とは
算数・数学	「思考・判断・表現」する力を育てる算数科学習指導の工夫	自分の言葉で考え表現できる生徒の育成
理科	知的好奇心を高める事象提示の工夫	「主体的・対話的・深い学び」を実践できる授業づくり
外国語活動・外国語	外国語活動における板書はどうあるべきか	まとまりのある英文を読み、大切な部分を正確に読み取らせる指導の工夫



鹿児島大学、伊藤奈賀子准教授から主体的・対話的で深い学びをどう促すかという講話から、今後の授業づくりについて多くの示唆をいただきました。

当日は、約 100 名の参加がありました。各科の発表をもとに、主体的・対話的で深い学びにつながる授業づくりのポイントについて活発な協議が行われました。



【参加者からの感想】(一部抜粋)

- 指導者自身が主体的・対話的に学ぶことで、児童生徒に主体的・対話的な学びを指導できると感じられた。
- 大学の視点から主体的・対話的に深い学び(アクティブ・ラーニング)について考え直すことができ、改めて今後の教育に不可欠な手段だと実感した。
- 講話の活動の中で、「教える」から「考えさせる」ことの大切さを改めて感じました。
- ワークシートや学習形態の設定、課題解決の方法を気付かせる手立てなど、実践していきたいと思います。

平成 29 年度地区研究協力校研究公開

平成 29 年度は、5 校が県・地区指定の研究協力校として研究公開を行いました。どの学校の研究も学校の課題解決に向け、とても充実した取組がなされていました。

内山田小「道徳教育」H29. 10. 31



枕崎小「国語科」H29. 11. 8

万世中「外国語教育」H29. 11. 14



立神中「キャリア教育」H29. 11. 28



南指宿中「不登校対策」H29. 12. 7

平成 30 年度は、下の 9 つの学校が研究公開を予定しています。ぜひ多くの先生方に参観していただき、成果を共有し、それぞれの学校に取り入れてもらえたらと思っています。たくさんの参加をお待ちしています。

平成 29・30 年度 県・地区指定研究協力校 (領域等)

枕崎市立桜山小学校 (小中連携)	枕崎市立桜山中学校 (小中連携)	枕崎市立別府小学校 (算数科)
枕崎市立立神小学校 (道徳教育)	指宿市立西指宿中学校 (いじめ対策)	南さつま市立笠沙小学校 (算数科)
南さつま市立益山小学校 (体力向上)	南さつま市立大笠中学校 (学力向上)	南九州市立別府小学校 (特別活動)